

-WEB 版動画講習会のご案内-

◆WEB版動画講習会のメリット

- ・インターネット動画が視聴できる環境であれば、いつでも、どこでも受講できます。
- ・テキスト(別売)がお手元があれば、申し込み(決済)後、すぐに受講できます。
- ・受講申込みされてから **30 日以内なら何回でも** 繰返し再生できるので学習効果がアップします。

【建築CPD情報提供制度認定プログラム・JSCA 建築構造士登録更新評価対象講習(予定)】

ひとりで学べる RC造建築物の構造設計演習(保有水平耐力)-前編・後編- 【WEB 版動画講習会 -構造設計シリーズ RC 造編 基礎Ⅱコース-】

(一財)日本建築センターが毎年開催し好評を博している「**技術セミナー 構造設計シリーズ RC 造編**」(2日間)の **WEB 版動画講習会**です。テキスト執筆者である、**椋山健二先生**、**楠 浩一先生**を講師に迎え、実際の講習会と同様に、講義と計算演習(関数電卓の手計算)の取り組み方法について解説する内容で、自学自習で学べるプログラムとなっています。前編・後編の2部構成。

*各編ごと、学習順序に従って講義を視聴したあと、テキスト付録の演習シートを使いながら、「ひとりでやってみよう」(演習問題)に取り組む構成になっています。

◆WEB 版動画講習会の視聴イメージ



◆構造計算の実務に沿ったプログラム



前編 (198分) 受講料 10,000円(税込) CPD 3単位
:2次設計とは、部材耐力等特性値の計算、崩壊メカニズムと保有水平耐力



後編 (179分) 受講料 10,000円(税込) CPD3単位
:必要保有水平耐力の算出、保有水平耐力の算出と保証設計

◆使用テキスト

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳

【保有水平耐力計算編】
(第3版第2刷)

著者 前田匡樹、岸本一蔵、
椋山健二、楠 浩一、
真田靖士、坂下雅信

発行 日本建築センター
ISBN 978-4-88910-168-3
定価 3,800円+税

*全国の書店でお求めいただけます。



◆WEB 版動画講習会のお申込み

日本建築センターの講習会ページからお申込みください。

日本建築センター 講習会

検索

右のQRコードから直接該当講習会のサイトにアクセスできます。



WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】

前編 崩壊メカニズム等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると328分（約5時間半）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。
（質問受付フォーム） <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

前編 講義時間：約198分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	講義・演習の進め方 <テキスト：序章> I. はじめに II. 構造計算フローと本書の構成 III. 本書の使い方 IV. 注意事項 2次設計とは <テキスト：第1章> 1.1 2次設計の背景と目的 1.2 2次設計における3つのルート モデルプランの概要と設計方針 <テキスト：第2章> 2.1 モデルプランの概要 2.2 モデルプランの設計方針	35分	
動画2	部材耐力等特性値の計算 <テキスト：3.1～3.4.1> 3.1 トリリアモデル 3.2 ひび割れ強度 3.3 初期剛性と降伏時剛性低下率 3.4 曲げ終局強度 3.4.1 梁の曲げ終局強度と終局時節点モーメントの算出 演習：ひとりでやってみよう / 1	48分	30分
動画3	部材耐力等特性値の計算 <テキスト：3.4.2> 3.4.2 柱の曲げ終局強度と終局時接点モーメントの算出 演習：ひとりでやってみよう / 2	28分	30分
動画4	崩壊メカニズムと保有水平耐力 <テキスト：4.1～4.2.3> 4.1 保有水平耐力とは 4.2 節点振り分け法 演習：ひとりでやってみよう / 3～4	39分	30分
動画5	崩壊メカニズムと保有水平耐力 <テキスト：4.3> 4.3 仮想仕事法 演習：ひとりでやってみよう / 5～7 4.4 保有水平耐力の算出結果 4.5 耐震壁を有する架構を有する保有水平耐力 (参考)	48分	40分
		198分	130分

WEB版動画講習会

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】

後編 保有水平耐力等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると324分（約5時間半）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。（質問受付フォーム） <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

後編 講義時間：約179分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.1～5.2.2> 5.1 必要保有水平耐力 5.2 構造特性係数 演習：ひとりでやってみよう／8～9	39分	30分
	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.2.3> 5.2.3 構造特性係数の決定 演習：ひとりでやってみよう／10		10分
動画2	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.3～5.4> 5.3 形状係数 5.4 必要保有水平耐力の計算 保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.1> 6.1 保有水平耐力 Q_u と必要保有水平耐力 Q_{un} の比較 演習：ひとりでやってみよう／11～12	42分	10分
動画3	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.1> 6.2.1 曲げ耐力余裕度 演習：ひとりでやってみよう／13	15分	20分
動画4	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.2(1)(2)> 6.2.2 せん断終局強度 (1) 梁のせん断終局強度 (2) 柱のせん断終局強度 演習：ひとりでやってみよう／14～15	51分	20分
	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.2(3)(4)> (3) 耐震壁のせん断終局強度(参考) (4) 柱・梁接合部のせん断終局強度 演習：ひとりでやってみよう／16		20分
動画5	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.3(1)(2)> 6.2.3 せん断破壊の有無の確認 (1)梁のせん断破壊の有無の確認 (2)柱のせん断破壊の有無の確認 演習：ひとりでやってみよう／17～18	32分	15分
	(3)柱・梁接合部のせん断破壊の有無の確認 演習：ひとりでやってみよう／19		20分
		179分	145分